

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

北広島町立壬生小学校 9教科型

2 学校の概要

(1)学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	24	15	20	21	15	21	116	13	129
学級数	1	1	1	1	1	1	6	3	9

(2) 兼務校の学級数及び児童数 (R6.12.1現在)

※加配教員が兼務しない場合は表を削除してください。

兼務校名	通常学級							特支学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
八重東小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	22	12	16	13	16	14	93	7	100
学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
壬生小5年1組	A	A	推進	A	推進	A	A	専科	A	A	A	A	専科
八重東小5年1組	B	B	推進	B	推進	専科	専科	専科	B	B	B	B	専科

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
壬生小6年1組	C	C	推進	C	推進	C	C	専科	C	C	C	C	専科
八重東小6年1組	D	D	推進	D	推進	専科	専科	専科	D	D	D	D	専科

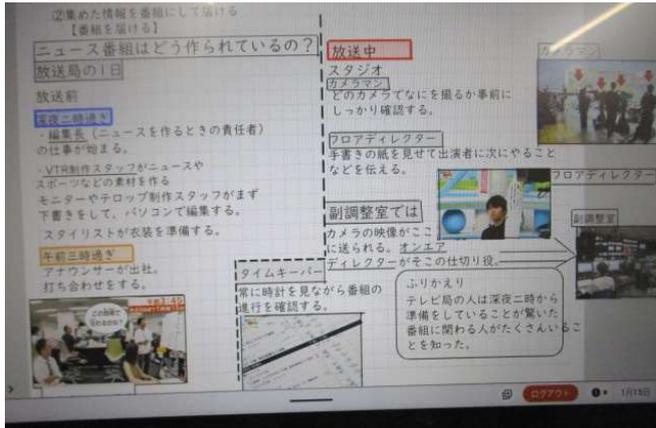
4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

① 授業の質の向上

- ・ 2校兼務を生かした教材研究
(同内容の授業を2回行うことによる授業改善、ワークシートや資料の共有)
- ・ ICTの活用
(資料の提示、タブレット端末を活用した調べ学習や発表等)
- ・ 2校兼務を生かし、他校の児童の学習のまとめを、タブレット端末を活用して紹介。
思考の深まりのある授業を仕組むことにつながった。
(間接的な交流学习)



② 多面的な児童理解

- ・ 各担任との児童の実態や、授業の様子等の情報交流
- ・ 暮会時の各学年の児童実態交流への参加
- ・ 配慮を必要とする児童への具体的な支援・分担の共有

③ 小・中学校の円滑な接続

- ・ 中学校の内容を見通した指導の工夫

④ 教師の負担軽減

- ・ 担任の指導担当教科を減らすことによる授業準備時間等の確保
(5・6年生の教科担任・専科実施教科・・・社会、理科、音楽、図画工作、家庭、外国語)

<成果>

① 授業の質の向上

【児童アンケートより】R6.12月

	肯定的評価をした児童の割合
教科担任制になってよかったです。	95%
教科担任制の授業が楽しみです。	94%
教科担任制になって、勉強の内容がよくわかるようになりました。	94%

教科担任制の授業の質に関する項目では、90%以上の児童が肯定的評価をしている。「教科担任制になってよかったと思う」理由として下のような意見があった。

- 教科によってわからないところをくわしく教えてもらえるから。
- 先生が代わることで変化があり、気持ちを切り替えて学習できるから。
- 先生が得意な教科や好きな教科を担当することで、自分も楽しくわかりやすく勉強ができると感じたから。

② 多面的な児童理解

【児童アンケートより】

	肯定的評価をした児童の割合
教科担任制になって、いろいろな先生と話す機会が増えました。	98%
教科担任制になって、分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。	94%

児童アンケートの多面的な児童理解に関する項目では、90%以上の児童が肯定的評価であった。「教科担任制になってよかった」理由のなかでも、下のような意見があったことから、複数の教員が授業に関わることで、児童とのコミュニケーションもより活性化し、児童理解につながったと考えられる。

【担任との児童の実態交流】

担任と児童の実態や授業の様子を交流することで、担当の授業だけでなく他教科や行事、学校生活での児童の様子も考慮しながら授業準備を進めることができた。また、各学校の生徒指導暮会に参加して児童の実態を交流することで児童理解が進み、指導の共有化を図ることができた。

③ 小・中学校の円滑な接続

理科や社会の学習で、児童からの疑問や教科書の内容に中学校で学ぶ範囲が含まれていることがあった。内容について簡単に説明するとともに、中学校で詳しく学ぶことを伝えた。

④ 教師の負担軽減

【指導担当教科が減ることによる授業準備時間の確保】

- ・担任の担当教科が減ることにより、児童のノートのチェックや、教材研究、校務分掌のための時間確保につながった。
- ・理科の実験など、安全性を確保するために必要に応じて担任と複数体制で授業を組むことができ、授業者の負担軽減につながった。

【教員用アンケートより】

「教科担任制を取り入れることは、教師の負担軽減につながっていると思う」という項目の肯定的な回答の割合は100%だった。主な理由としては、以下の意見があった。

- 担任の担当授業数が減るため、教材研究や校務分掌の時間を作ることができる。
- 物理的、心理的にも余裕が生まれた。
- 理科など、準備に時間がかかるものは特に担任の負担減になっている。

<課題>

① 授業の質の向上

【指導者が代わることによる学習方法の違いによる児童への負担】

児童アンケート「教科担任制になってよかったです。」の項目で、あまりあてはまらないと答えた児童の理由に、「先生が代わることで、勉強の仕方が変わって難しいから。」というものがあつた。学年や指導者が代わっても校内で統一して取り組むことができる学習の進め方が必要である。

② 多面的な児童理解

【2校兼務での児童の情報共有が難しい】

2校兼務であるため、各校への勤務は週の半分となる。不在であった時の児童実態について共有できておらず、対応に苦慮した場合があつた。方法について確認しておく必要がある。

③ 小・中学校の円滑な接続

【中学校の教員との教科指導の情報交流の機会が少ない】

中学校の教科指導の実際について研修または交流する機会が少ないため、小・中学校間での指導の円滑な接続についての、具体的な取組が不十分である。

④ 教師の負担軽減

【2校兼務による日程・時間割調整】

2校兼務であることから、授業時間数確保のための日程調整に苦勞する場面が多かつた。また、補習など、物理的・時間的に確保できないことがある。



<対策>

① 授業の質の向上

【児童への負担を軽減するために】

校内での学習のきまりの設定・共有化

指導者が代わっても、学習の進め方や板書など、児童の負担を減らすことにつながる内容を整理し、必要に応じて可視化して取組を進める。

<例> 発言の仕方についての掲示「つながっとワード」の取組
理科・社会の学習の進め方の掲示



② 多面的な児童理解

【2校兼務での児童の情報共有を図るために】

校内掲示板の活用

・非勤務日において校内で確認された事項は、校務支援PC等を活用し共通理解を図る。

管理職や担任・担当者との積極的な児童連携

- ・学校全体での共有情報を管理職・担当者に確認し、児童理解に努める。
- ・担当授業の中で気になった児童実態については、当日中に管理職や担任、担当者に伝え、早期に対応できるようにする。
- ・担任との連携時間を設定し、必要な支援を協力して行うことができるようにする。

③ 小・中学校の円滑な接続

【中学校との連携機会をもつために】

小・中学校双方の授業担当者による連携

- ・小・中学校間で授業を見合ったり、授業づくりについて研修したりするなど連携機会を設ける。
- ・高学年の担任だけでなく、他の担当者も参加できるような機会をつくり、具体的に必要な取組を協力して考えられるような体制づくりを進める。

④ 教師の負担軽減

【日程・時間割調整】

授業時間数の確保のための見通しをもった時間割調整や日程調整

- ・管理職や教務主任、担当者、担任と連携して時間割調整や日程調整を行い、授業時間を確保していく。
- ・決まっている時間内や計画範囲内で学習活動を進め、教師の負担軽減につなげる。